

「唐戸市場について」

泉小学校 3年 板井 悠隼

① 魚市場に行きまよう。
山口県下関市にある唐戸市場に行きました。

唐戸市場は「関門の台所」として、地元漁師がとった魚を直売市場がとぎ



早い時間に行くと、二階からセリの様子を見学できます。ぼくは、ふぐのからあげとか、おすしとかを買って食べました。新せんごおいしかったです。

下関といえば「ふぐ」
下関では、「ふぐ」
ごはん、福に通じ
るとして「ふぐ」と
よんでいるそうです。



ふぐのオブジェ
市場に来る人がもっと元気になっ
て、ごりやしもまるようにとり
思いをこめてふぐのオブジェがせ
ちされています。

③ 福山の卸売市場よりも大き
たです。ふぐのからあげがおい
しが、たからまた行きたいです。



福山地方卸売市場に社会見学に行き、山口県下関市にある唐戸市場に興味をもちました。見学に行くと、福山地方卸売市場よりも広く多くの人が出て、まとめようと思いました。

「ミョウバンの実験」

泉小学校 4年 佐道 智大



まずミョウバン80g を水にとかし、半日ほど置きました。次にとけ残っているミョウバンの種けっしょうをテグス糸で結び、ミョウバン30gが入ったミョウバン溶液の中に、種けっしょうを2日ほど入れておくと、ミョウバンの結晶ができました。作れた時は、とてもきれいで、うれしかったです。

「壇ノ浦の戦いについて」

泉小学校 6年 板井 優奈

④ 壇ノ浦の戦いについて調べよう。

🌸 勝敗を分けた関門海峡
西へ東へと1日に4回、その流れの向きを変える関門海峡。せまい所では、西岸の幅は700mあまりで、潮流の速度は最高で約10ノット(時速18キロ)になる。

🌸 壇ノ浦の戦いとは
寿永4年(1185)3月24日に起きた源氏対平氏の海戦。6年にわたって続いた、源平合戦の最後の戦い。平教盛を大将とした平家と源義経(源頼朝の弟)をひきいる源氏が合戦した。当初は平家が優勢だったが、潮の流れが西向きに変わり始めると源氏が勢いを盛り返し、平家は追いつめられた。最後を覚悟した教盛が、その旨を一門に伝えると、2位の尼は当時8歳の安徳天皇を抱いて入水。教盛も後を追って海峡に身を投じ、平家一門は滅亡した。

🌸 その後
日本の政治は貴族から幕府による武家政治へと移行していった。1192年、源頼朝は征夷大将軍に任命される。

🌸 壇ノ浦の戦いにまつわる伝説
この戦いで義経は平教盛の攻撃を船から船へと飛び移ってかわし、いわゆる「八艘飛び」を見せたと言われている。

←長州砲のレプリカもある。100円を入れると、大砲の音と煙が出る。

義経の → 八艘飛び



社会科の歴史で学習したことから興味をもち、もっと知りたいと思い、実際に歴史に関わりのある関門海峡に行き、そこで分かったことをまとめた。